



何でも挑戦できる人になるには・・・



これしってましたか??

子どもの頃に育んだ自己肯定感（自分は大切な存在だと感じる心の感覚）が大人になってからの意欲や意思決定能力に影響してくるのはご存知でしょうか・・・

～自己肯定感が低い子供の特徴～

- ①感情のコントロールがうまくできない（すぐ怒ったり泣いたりするなど）
- ②褒められても素直に喜ばず、裏があるのではないかと勘ぐる
- ③怒られると自分を否定されたと感じて落ち込んだり、怒ったりする 等々

⇒自分に自信がなく、常に失敗を恐れて新しいことへのチャレンジをためらい、また、他人を信頼できにくいので他人に頼ったり、他人の評価を素直に受け取ったりできません。

どうしたらいいのでしょうか・・・??



10歳までの子育てが重要!!!!

特に10歳まではしつけよりも**褒める**ことに重点を置いて子育てが最重要といわれています！

人間の脳は10歳までに約80%が出来上がってしまうので、10歳までが脳の成長ピーク・・・(・_・;)

10歳までの、フィルターをかけることなく親の言葉にダイレクトに影響される時期に、褒めて育てることで「自分はこのままでも大丈夫な人間だ!」という認識が子供に根付くそうです。

脳が急成長する9歳までのうちに、**【より多く褒められる育ったか、怒られて育ったか】**ということが後の人生に大きく影響してきます。

こどもの自己肯定感を高めたいと思っているなら、**10歳まではとにかく褒める!**それにより、のちのちしつけに重点を置かなければならぬ場面に直面しても、子どもの理解に差が出てくるそうです！

褒め言葉特集

☆いいね	☆輝いてるね	☆すばらしい	☆お見事	☆お手柄だよ
☆いけてるね	☆完璧	☆世界一	☆〇〇達人	☆賢いね
☆えらい	☆さすが	☆たくましい	☆文句なし	
☆神レベル	☆最高	☆ナイス	☆やったね	
☆感動した	☆最強	☆ばっちり	☆立派	

日本は、人を褒める言葉が少ないといわれています。このような環境だからこそ、親は子供に対して意識的に褒める言葉をかける必要があるのだそうです。

最近の日本では、自己肯定感が低い子供が増えているとわれています。自己肯定感が高い子どもは、自分のことを大切に思い、周囲からも大事にされていると感じているため、**失敗よりも成功を意識して前向きにチャレンジしたり**、壁にぶつかっても立ち向かっていく事が出来ます。また、人と積極的に関わり、他者や環境を受け入れ、良好な人間関係を築いていける傾向にあります。

今後の未来は、人生の選択を常に迫られ、新しい事を挑戦し続けるよう迫られます。新しい事は、自分の知識のない状態から学んでいくので、高い壁に何度もぶち当たると思いますが、しかし、自己肯定感が高ければ前向きに挑戦し、壁にぶち当たっても立ち向かっていくことができます。そして、努力というもの自然と身についていくのです。

イトマンの指導は**褒めて伸ばす授業方針**です。お子様の成長に良い影響を与えられると思います！是非、イトマンに お子様のサポートの協力をさせてください。